

# 財産「争族」減らせ

## 事例を研究「相続学会」設立



「無用な相続争いを減らしたい」と語る伊藤久夫さん＝愛知県津島市で

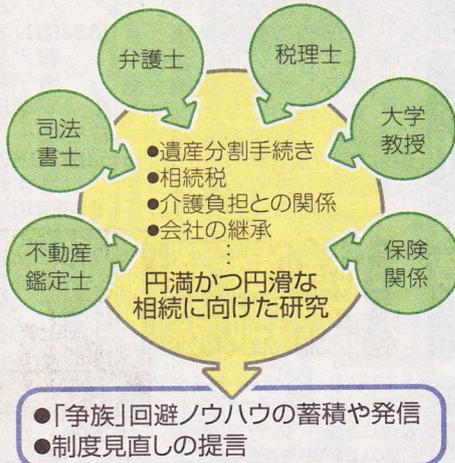
### 津島の伊藤さん

相続が「争族」にならないように。外資系保険会社の営業マンとして顧客の相続に携わってきた愛知県津島市の伊藤久夫さん(五五)が、弁護士や税理士、司法書士らと協力しながら、相続の実例を持ち寄って研究する「日本相続学会」を設立した。九月に、一般社団法人に格上げして活動を本格化させる。相続をめぐる骨肉の争いを減らすため、専門家の知識を集結させて解決ノウハウを蓄積することを目指す。(藤嶋崇)

伊藤さんは、財産をきた。めぐる数多くの「争」 「あいっだけ生前に族」現場に立ち会って 土地を譲ってもらった

## 弁護士ら専門家の知恵結集

### 日本相続学会の活動



た「兄弟で一人だけ 弁護士の中には、相続大学に行かせてもらえ 税や不動産に疎い人た」。相続をめぐる話 がある。相続税に精通し合いから過去の不満 した税理士は、民法の が噴き出し、旅行を共 規定や不動産に弱いこ にするほど仲の良かつ とがある」と指摘す た兄弟姉妹や親族が絶 る。

縁する例もあった。不 さまざまな分野の専 毛な争いを目的の当たり 門家が横断的に集まっ にして「うまく相続を て実例を持ち寄り、無 勝ち取っても、幸せに 用なトラブルの回避方 なることはあまりな 法や円満な解決策を見 い」と実感してきた。 いたす場を設けたらど 相続トラブルが相次 うか。そう考えて、 いでいる背景には、相 各分野で活躍する人た 続全体に精通した専門 ちに声を掛け、昨年十 家が少ないという事情 一月に学会設立にこぎ がある。伊藤さんは つけた。

「民法の規定に詳しい 事務局は、副会長を

務める東京の税理士の 伊藤さんは学会長に 事務所に置く。現在の 就任。「相続問題は広 会員は百人強で、この い領域にまたがる。 うち二割程度が東海地 「相続学」を確立し、 方の専門家たちだ。毎 研究成果を出版物など 月一、二回、「保険と で社会に発信したり、 相続」「不動産相続の 相続をめぐる制度の見 現場」などをテーマに 直しなどを提言してい セミナーを開き、実例 きた」と話してい 研究を続けている。

### 「再婚」トラブル目立つ

愛知県司法書士会に る。 よると、相続トラブル 亡くなる前には介護 で目立つのは、亡くな をしていなかった親族 った人が再婚のケー などが相続権を主張し ス。前の配偶者との間 て「面倒を見なかった の子が急に相続を主 せ」とトラブルに 張したり、法定相続人 なることもある。同会 と連絡が取れなかった の担当者は「当事者同 りすることが多い。家 士で解決できない場合 屋などの不動産や株 は、家裁に調停を申し 券などの有価証券をど 出たり、弁護士会にあ う分割して受け継ぐか っせん仲裁を依頼する という話し合いも、も が、強制力がないため に必ずしも解決に結び 付かないのが現状」と いう。

名古屋家裁による と、遺産分割に関する 調停の申立件数は二〇 〇八年以降、毎年六百 件以上で推移してい る。愛知県弁護士会に よると、仲裁依頼は一 九九七年以降で計六十 一件あった。



米軍の 引き油 二元 倒壊。 経営す 被災者 市で二 二人は、 六万五 福島の 保養キ、 一〇一 削さん) にやっ 一人、 一人、